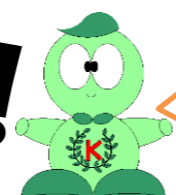




# たかみらいふ!

～「たかみ」「みらい」「らいふ」～



けやきの  
けやっきー

文責：コミュニティ・スクール推進員 大空秀文

「たかみらいふ!」は、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深め、学校づくり、地域づくり、自分づくりを推進するために、コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校について、地域に関わる歴史、人物等をこのまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。タイトル「たかみらいふ!」には、「高美が丘小・中学校を意味する「たかみ」「まちの未来を意味する「みらい」「地域での生活を意味する「らいふ」という言葉があり、小・中学校と地域がさらにつながり、輝く未来を生きていこう!という思いを込めています。HPでも掲載中!

## 「あしたに向かって」高美が丘小学校!

たかみらいふ! 第3号では、高美が丘小学校で受け継がれている、けやきの木、「あしたに向かって」の2点から高美が丘小学校についてご紹介します。次号では、高美が丘中学校についてご紹介します!

### ○高美が丘小学校とけやき

「たかみらいふ! 第1号」で紹介したように、高美が丘小学校の校章には、けやきが用いられています。けやきの木言葉は「華麗、調和、バランスよく生きる」という意味があり、木々によって葉の色も異なり、木材としては木目が美しいだけでなく、固く強い性質を持つことから、美しく強いという内外両方において調和がとれた樹木であるとされています。

高美が丘小学校の校章のけやきは、“和”を大切に教育と地域や人びとの“和合”を表しています。小学校創立1年目には、「大きく育て、天まで届け!」という願いを込めて記念樹としてけやきの木が植樹されました。創立当初に勤務されていた先生にお話を伺うと、創立したばかりの高美が丘小学校は、緑が少ないなかで、植樹された一本のけやきが堂々と力強くそびえ立っていたそうです。来年度、創立30周年を迎える高美が丘小学校は、当時に比べて、緑も豊かになり、設備も充実しましたが、けやきの木は“和”の象徴として、今もなお、子ども達や高美が丘小学校の歴史とともに育っています。

高美が丘小学校  
校章



平成4年5月14日撮影



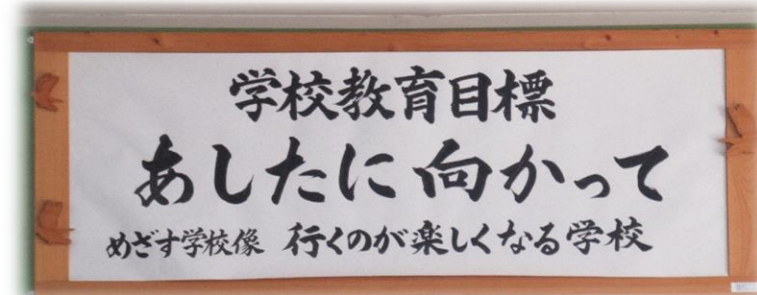
令和2年6月24日撮影

### ○「あしたに向かって」に込められた願い

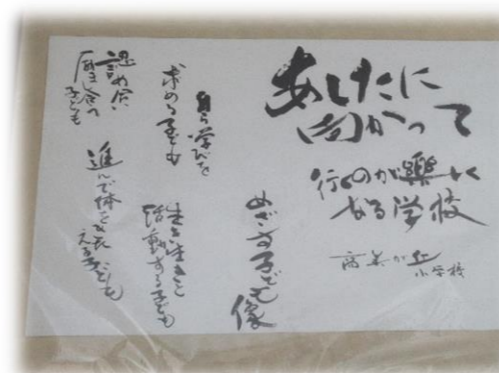
高美が丘小学校の学校教育目標は「あしたに向かって～行くのが楽しくなる学校～」です。これは、創立6年目(平成10年)に設定され、校内の多くの場所で目にすることができます。



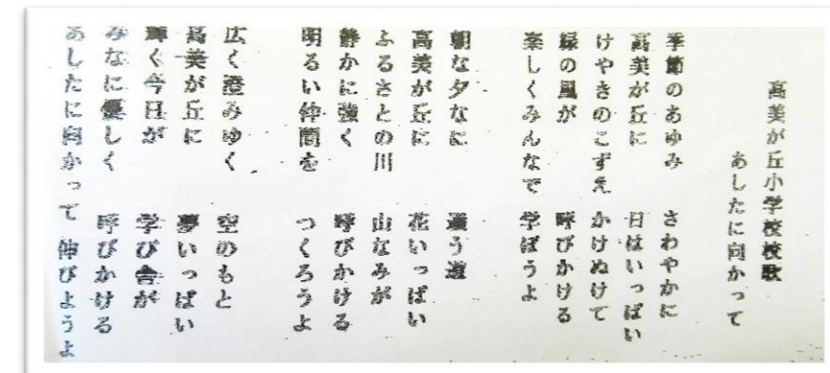
・創立10周年記念モニュメント(けやきのそば)



・職員室の前面掲示



・小学校玄関掲示



・校歌「あしたに向かって」

では、「あしたに向かって」に込められた願いはご存知でしょうか? 「あしたに向かって」が学校教育目標に設定された当時の資料には次のように書かれています。

わたしたちの学校教育目標には、プラス思考、創造性と一人一人の子どもを尊重する考え方が根底に流れている。『あしたに向かって』は、「あしたに向かって+伸びる+子どもと教師と学校」と続くのである。そこに込められた願いは、自ら考え、学び、判断し、行動する子どもであり、教師であり学校である。  
(『研究収録 高美が丘の教育 第6集』より)

学校教育目標には、あしたに向かって挑戦し、創造していく子どもや先生、学校を目指そうとする願いが込められており、これは、時代が平成から令和になった今でも「高美が丘教育」の根底にある精神です。

また、「あしたに向かって」は、学校創立当初から高美が丘小学校と地域がともにあすに向かって歩んでいこうとする希望の象徴でもありました。高美が丘地域は、高美が丘団地の誕生に伴い、高美が丘団地、高屋堀、杵原が合わさってできた新しい地域でした。この新たにできた学校と地域は一体となり、地域が学校を支えることで“学校創り”をし、学校創りを通して地域の人びとがつながり、“地域創り”が行われたとされています。これは、今もなお息づいており、「新しい地域と学校という『新しさの魅力』を生かし、「ひたすらに明日をめざして地道に歩む」ことで(『創立10周年記念誌けやき』より)、これからも高美が丘小学校と地域は創られ続けていきます。